

分かち合いの手引き(セブン・ステップ方式)

「ともに歩む教会のため 一交わり、参加、そして宣教」
世界代表司教会議・第16回通常総会の準備のために

(広島教区用)

【事前の準備】

- ①分かち合うグループの真ん中に、例えば、聖書を置いて安置し、ろうそくを灯す。
- ②参加者全員に分かち合いの手引きのプリントを配布して、目を通してもらう。
- ③分かち合いの前に役割分担をする。
 - 一進行 1名
 - 一導入(分かち合いの目的)や質問などを読む 1名
 - 一聖書朗読 1名
 - 一記録 1名～2名 (できれば分かち合いを録音しておき、後で要約して記入してもよい。)
 - 一その他、必要に応じて。

第1ステップ【はじめの祈り】

進行: 皆さんお立ちください。それでは、世界シノドスに向けて準備の分かち合いを始める前に、
聖霊の助けを願って、ともに祈りましょう。

聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立ち、
あなたのみ名によって集います。
わたしたちのもとに来て、とどまり、
一人ひとりの心にお住まいください。
わたしたちに進むべき道を教え、
どのように歩めばよいか示してください。
弱く、罪深いわたしたちが、
一致を乱さないよう支えてください。
無知によって誤った道に引き込まれず、
偏見に惑わされないよう導いてください。
あなたのうちに一致を見いだすことができますように。
わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、
真理と正義の道を迷わずに歩むことができますように。
このすべてを、いつどこにおいても働いておられるあなたに願います。
御父と御子の交わりの中で、世々とこしえに。アーメン。

(セビリアの聖イシドロス)

第二バチカン公会議のすべての会議は、Adsumus Sancte Spiritus という祈りで始まりました。
ラテン語の最初の語は、「聖霊、わたしたちはあなたの前に立っています」という意味です。
これは数百年にわたり、公会議、シドス、他の教会会議で歴史的に用いられてきたもので、
セベリアの聖イシドロス(560年頃-636年4月4日)によるとされています。
わたしたちがこのシドス的なプロセスを受け入れるにあたり、この祈りは、聖霊がわたしたちのうちに
働くようを招き、それによってわたしたちは恵みの共同体、恵みの民となるのです。

(「手引書」より)

進行: 皆さん、おかけください。

§【書記の紹介】(必要に応じて)

進行: 皆さん、本日、わたしたちのグループから〇〇さん(と〇〇さん)が書記を担当して、
この分かち合いを要約し、提出して下さることになっています。よろしくお願いします。

第2ステップ【導入】(分かち合いの目的)

進行: これから行う分かち合いの目的を確認するため、まず、導入の部分を、〇〇さんに読んで
いただきます。(グループの一人が導入を読む。他の人も黙読する。)

カトリック教会は、第二バチカン公会議の体験によって生まれた教会の「刷新」の精神を生き生きと保つため、1965年に教皇パウロ6世によって設立され、3年~4年ごとに続けられてきましたが、2023年開催される世界シドスで第16回目になります。「シドス」という言葉には、「ともに旅をする」「ともに歩む」という意味があり、世界シドスは、各国の司教協議会を代表する司教たちを主な参加者として開催され、提起された問題について討議し、教皇に意見を答申する役割を果たします。また、世界シドスは教皇と全世界の司教たちとの一致と交わりを深め、教皇を補佐することを目的として開かれるものです。

教皇フランシスコは、世界シドスの設立から今日までの半世紀に及ぶその歩みを振り返り、どのようなプロセスが、交わりを生き、参加を促し、宣教に向けて自らを開いて行くのに役立つかについて、神の民全体とともに考えることを望んでいます。そして、互いに「交わり」を深め、積極的に一人ひとりが「参加」することによって、ともに「宣教」に取り組むという、このシドス性(シノダリティ)こそ、神が21世紀の教会に求めておられることであると強調しています。

そのために教皇は、2023年10月の世界シドスのテーマを、「ともに歩む教会のため一交わり、参加、そして宣教」とされただけでなく、そのプロセスにおいて、地方の教会(教区)、また、各大陸での準備を通して、2023年に世界シドスが開催されることを望まれました。広島教区でも、2021年10月17日~2022年1月末まで、幅広くこの準備への参加を呼びかけています。

【基本的な質問】

進行:2023 年の世界シバドスの準備のため、教皇フランシスコは、次のような基本的な問いかけをわたしたちにしておられます。

- ①福音を告げながら、「ともに旅をする」ということが、今日、わたしたち(教区、地区、小教区、修道会……)の中で、どのような形で起こっているでしょうか。
- ②わたしたち(教区、地区、小教区、修道会……)が、「ともに旅をする」中で成長するために、聖霊はわたしたちが、どのような段階を歩むように招いているでしょうか。

進行:この問いかけを心に留めながら、神のこぼれを聞き、心に響く聖霊の声に耳を傾けましょう。

第3ステップ【聖書朗読と黙想】

(以下の聖書箇所から一つを選んで朗読を行なう。)

使2章 1 節～11 節、1 コリント12章 4 節～11 節、1 コリント12章 12 節～26 節、
マタイ 5 章 13 節～16 節、ルカ24章 13 節～35 節、ヨハネ 16 章 12 節～15 節

(教区からの質問票を参加者に配布して、10の具体的な項目についても知らせるとよい。ただし、10の具体的な項目については、すでに紹介した2つの基本的な質問に答えるためのヒントとなるものであり、それらを参考にしてください。)

進行:それでは、教皇フランシスコの基本的な2つの質問について分かち合いを始める前に、そのヒントになる10の具体的な項目を紹介いたします。(これら10の項目についても、時間が取れるようでしたら、最後に少し分かち合う時間を持ちたいと思います。)

これから〇〇さんに、その10の具体的な項目を読んでもらいます。

(参加者の一人が、参考になる10の具体的な項目を読む。)

第4ステップ【黙想】(約3～5分)

進行:それでは、しばらくの間、沈黙の内に、各自、黙想を行ないましょう。

第5ステップ【分かち合い】

分かち合いのルール

- ・分かち合いは、討論(ディスカッション)ではない。
- ・各自の思いを大切にし、しっかりと耳を傾け、途中で発言を妨げないようにする。
- ・発言するか、しないかは自由である。発言を強制しない。
- ・各自、1回の発言の長さに留意する。

(基本的な質問①と②を別々にして、それぞれについて分かち合いを進めてもよいし、
あるいは2つの質問が関連しているため、それらについて同時に分かち合いをしてもよい。)

進行: 先に、基本的な質問について、その後に10の具体的な項目について分かち合いをおこなって行きましょう。再度、基本的な質問を読んで確認したいと思います。

(進行係が該当する質問を読む。)

それでは、自由に分かち合いをお願いします。(時間を決めて、自由に発言をせらう。)

進行: 次に10の具体的な項目に関連して、発言したい人がいましたら、よろしくお願いします。

(進行係自身が、再度、該当する10の具体的な項目を読んでもよい。)

(それでは、これらの10の具体的な項目に関連して、自由に分かち合いをお願いします。)

第6ステップ【祈り】

招き: わたしたちとともに歩み、導いてくださる神に感謝して祈りましょう。

(必要に応じて自由な形式で、共同祈願、主の祈りを付け加えてもよい。)

結び: (「ミサ典礼書」補遺 十四 福音宣教のため)

恵み豊かな神よ、

あなたは、教会がすべての民の救いの秘跡となり、

キリストの救いの業を世の終わりまで伝えることを望まれます。

信じる人々の心を燃えたたせ、宣教の使命に目覚めさせてください。

すべての人が一つの家族、一つの民としてあなたのもとに集まり、

ともに栄光をたたえることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

第7ステップ【派遣の祝福】

(司祭や助祭が同席していれば、派遣の祝福をお願いします。)

司祭: 主は皆さんとともに。

会衆: また司祭とともに。

司祭: 全能の神、父と子と聖霊の祝福が + 皆さんの上にありますように。

世界シブス準備のための分かち合いを終わります。行きましょう、主の平和のうちに。

(司祭や助祭が同席していなければ、以下のように結ぶ。)

進行: 世界シブス準備のための分かち合いを終わります。

会衆: 賛美と感謝のうちに。アーメン。

進行: 以上をもちまして、シブス準備の分かち合いを終わります。有難うございました。